

ゆうあい

2025年9月おたより 712号
友愛幼稚園 TEL 078-231-5818
神戸市中央区吾妻通5丁目2-20

保育目標・・・共に生きる工夫のできる子ども

<月主題> 幼児：祈りの中で 乳児：ゆったりと

<聖句> 「神は大きな力を与えられる」(イザヤ書 40章 9節)

じりじりと焼けつくような夏の日差しがほんの少し和らぎ、朝夕は過ごしやすくなってまいりました。

さて、8月は平和について考える機会を持ちました。先週の礼拝では、いつも子どもたちに礼拝でお話をしてくださっている賀川記念館の^{おの あゆむ}小野 歩さんが『へいわとせんそう』(たにかわしゅんたろう/文 Noritake/絵)の絵本を読んでくださいました。“へいわのわたし、せんそうのわたし”“へいわのかぞく、せんそうのかぞく”・・・などそれぞれの場面をシンプルな絵で表現されている絵本で、子どもたちに「へいわって?」「せんそうって?」・・・と、小野さんが子どもたちに問いかけてくださいました。敵も味方も何も変わりがないこと、なぜ戦争が起きってしまうのか、ということを考えさせられました。

お誕生日会の礼拝では、絵本『へいわってどんなこと?』(浜田桂子/著)を読ませていただきました。少し抜粋してご紹介します。

へいわって

せんそうをしない。ばくだんなんかおとさない。

いையまちははかいしない。

おなががすいたら だれでもごはんがたべられる。

ともだちといっしょに べんきょうだってできる。〇

それからきつとね へいわってこんなこと。

みんなのまえて だいすきなうたがうたえる。

いやなことはいやだって、ひとりでもいけんが いえる。

わるいことをしてしまったときは ごめんなさいってあやまる。

へいわって ぼくがうまれてよかったっていうこと。

きみがうまれてよかったっていうこと。

そしてね、きみとぼくはともだちになれるっていうこと。

「戦争をしていないことだけではない、命がとっても大事にされること。差別されたり、しいたげられたりしないことが平和だと思って、そういう想いを込めてこの本を作りました」と著者の浜田さんはおっしゃっています。

子どもたちの日々のくらしの一つ一つが平和な社会につながっていくのだと感じています。子どもたちの気持ちを大切に、一日いちにちを過ごしていきたいと思ひます。

園長

9月うまれのおともだち

おたんじょうびおめでとう!



9月の行事予定

- 1日(月) 交通安全教室
- 9日(火) 誕生日会
- 10日(水) 体育あそび
(すみれ組・れんげ組・ちゅうりっぷ組)
- 12日(金) 敬老のつどい
(たんぼぼ組・ちゅうりっぷ組
れんげ組・すみれ組祖父母)
- 16日(火) 避難訓練

9月はつくし組個人懇談会です。
詳しくはクラスの掲示板でお知らせいたします。

実習生受入れのお知らせ

- ・関西学院大学から3名
9月1日(月)～5日(金)
- ・神戸元町こども専門学校から1名
9月8日(月)～19日(金)

子どものつばやきを紹介します



4歳児 れんげ組

クラスで育てているスズムシを毎日観察しているAくん。
午前中はあまり活動していないスズムシを見て「ねてるのかなー。スズムシさん、おふとんはどうするんだろう。」とつぶやいた後に少し考えて「あ!土がふかふかだから だいじょうぶなのかー。」と自分なりに考えて出した答えにほっこりしました。

3歳児 ちゅうりっぷ組

すいか割りの時に、すいかを棒でたたいた後、「大丈夫?よしよし」とすいかを撫でていました。とても優しい気持ちになりました。

5歳児 すみれ組

Aくん 「虫って死んだら虫の天国に行くんだよ」
Bくん 「天国って本当はないんだよ」
Aくん 「本当にあるって!お空のもーっとお空に」
Bくん 「えーお空の上は宇宙だよ。なんにもないんだよ」
Aくん 「じゃあ 宇宙のもっと上にある!」
Bくん 「宇宙の上かぁ・・・」
行ったことのない宇宙について考える子どもたちでした。

2歳児 たんぼぼ組

救急車のサイレンが聞こえ「きゅうきゅうしゃ!」と窓に向かったAくん。周りのお友だちも連れて窓に駆け寄り、「がんばってー!」「きゅうきゅうしゃ だいすき!」と全力でエールを送っていました。テラスの塀で救急車はみえませんが・・・。

ナースのおたより

9月9日は「救急の日」です。
救急とは、急なけがや体調不良の手当てをすることです。小さな子どもは何が危険かを予測することが未熟で、好奇心が旺盛なため、けがをしやすいのです。

かんたんな応急手当

すり傷→流水で洗い、ガーゼで保護
やけど→流水、こおりですばやく冷やす
鼻血 →下向きで小鼻を5分ほどつまんで圧迫する

救急車を呼ぶか迷うときには
まず#7119に相談



家の中にも危険がいっぱい 家庭で子どもに多い事故と対策

- ① 浴槽での溺水
残り湯はためておかない
- ② やけど
熱湯や熱くなる電気器具は手が届かないところに
- ③ 階段からの転落
階段柵の設置
- ④ 誤飲・窒息
口に入れて詰まる大きさのもの、食べて危険なものを子どもの周囲に置かない

環境を整えて目の届く場所での見守りを